

「和歌山市地域子育て支援拠点事業運営業務（河西ほほえみセンター内）」
事業計画書④

【子育て親子の交流の場の提供と交流の促進（通年）】について

拠点を訪れる親子が居心地よく過ごせる空間になるよう、以下の点についてどのように工夫するのか記載してください。

<p>ひろば開設時間 火～日 10:00～16:00 月曜日が祝日の場合は開設、翌平日を閉所</p>	<p>利用カード</p> 	
---	---	--

・親子同士の交流が促進されるための工夫

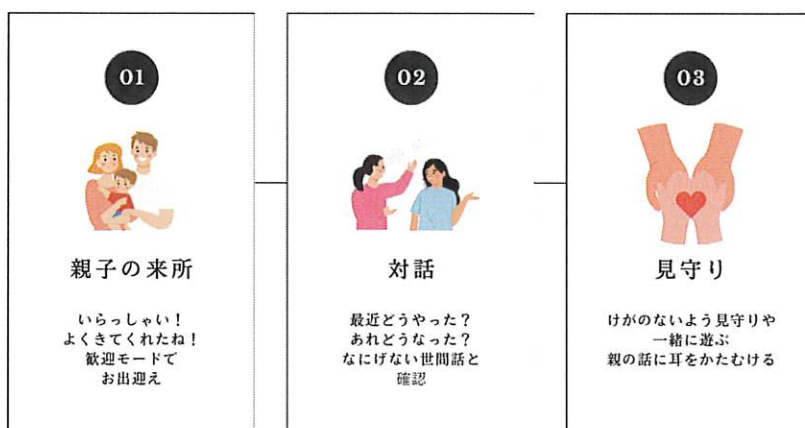
- ①来所毎に来所記録（保護者の名前、子の名前・月齢）を記入してもらう事で広場利用中の同年齢の子を把握しやすく、交流のきっかけが作れるようにする。※下部写真A
- ②子どもに名札シールをつける事により初対面の親子同士でも「子どもの名前」ならお互い呼びやすくなる。
- ③孤立する親子がいればスタッフがさりげなく声をかけ、他の親子との共通点をさがし話題提供や交流ができるよう橋渡しをする。橋渡し後、親子同士で会話が続いていればスタッフは介入せずに、見守りにあたる。
- ④広場に行くきっかけがつかめなかった親子へむけて、初めて来所される方が遊びに来やすいように、「はじめてさん集まれ」等イベントを企画し、足を運んで頂けるようにする。初めて来られる方ばかりなので、グループが出来ていることも少なく、たくさんの方と交流してもらえる機会になる。
- ⑤月齢・年齢別開放日、父親の日等の設置により、参加者属性が絞られ共通の話題が出やすくなり、親子同士の交流がしやすくなる。※下部写真B

これらの交流促進がきっかけとなり、家族ぐるみでのつながりが出来、拠点外や卒業後の共助関係が生まれる。



・未就園児を連れて保護者が居心地よく過ごせるような空間作り

未就園児を連れて保護者が安心して過ごせる空間作りは、子育て支援の重要な要素です。保護者にとって、子どもと安心して過ごせる場所を提供することは、心身のリフレッシュや他の保護者との交流の場となり、子育ての負担を軽減することにつながります。ひろばに来る親子の1日を想像し、ひろばの扉を開けた時に「あそびにきてくれてありがとう！」とスタッフが誠心誠意出迎えます。



■ハード面

- ①乳幼児向け畳スペースの設置
- ②室内に雑誌や情報誌等のコーナーを設置
- ③ベビーベッドの活用
- ④ひろば室内の環境整備

部屋の明るさや、音楽の大きさなどにも配慮し、心身の健康と情緒の安定を図れるようにする。適度に冷暖房などを使い部屋の温度を快適温度に設定し、適度に換気などを行う。



■ソフト面

- ①来所者ご自身のお話を聞いて欲しい場合が多いので、スタッフは傾聴に努める。
- ②2人以上のお子さんを連れて来られる方のフォロー。
- ③きょうだいをまんべんなくかまえない場合やトイレ時などのフォロー。
- ④月齢の低い子ども、未就園児を持つ保護者は、日中親子だけで過ごし、昼食も流れ作業で済ませる場合が多い。持ち込み可能な（手作りでもOK）「赤ちゃん食堂」「ちびっこ食堂」ランチ交流会を定期的で開催しています。

・交流の場に来た子供が楽しく過ごせる空間作り

安全第一：転倒防止、衛生管理を徹底

多様な遊び：年齢別、テーマ別など、様々な遊びの場を提供

交流の場：保護者同士が気軽に話せるスペースを設ける

休憩スペース：ベビーベッド、ごろ寝できる畳

子どもの成長を促す環境：自然素材、五感を刺激する遊びを取り入れる

多様な遊びの場

年齢別コーナー：年齢に応じた遊具やスペースを設置。ラベリングをし、子どもも保護者もお片付けをしやすいように環境を整える。

自由遊びスペース：子どもたちが自由に遊び、創造性を育めるスペースを設ける。

読み聞かせコーナー：絵本を読んだり、親子で語り合うためのスペースを用意する。

おままごとコーナー：社会性を育むための遊び場を用意する。

子ども主体の突発的に生まれたあそび、その場にいる子どもの年齢に応じた臨機応変な遊びの提案等、子どもへの声かけ・遊びを通した成長と一緒に楽しみます。

ラベリングおもちゃ棚



おままごとコーナー



ぬり絵遊び



帰る時にぐずる子どもへ
折り紙のお土産をわたしています。
親子ともにご機嫌な気持ちでひろば
を後にされています。

●環境面の配慮

①エアコンや加湿器なども活用しながら室温、湿度、を調節し、換気を行う。また部屋の明るさや、音楽の大きさなどにも配慮し、心身の健康と情緒の安定を図れるようにする。

②親子が過ごしやすくするために日頃から清掃や消毒に関するマニュアルなどを活用し、常に清潔な環境が保てるように配慮する。

③室内で使用されるおもちゃ、ベッドなどは定期的に点検し安全性の確保や機能の保持など具体的に点検項目や点検日および点検者を定めるなどし、定期的に点検を実施する。

【子育て等に関する相談、援助の実施（通年）】について

子育てだけに限らず様々な悩みを抱える保護者に対して誠意ある対応ができるよう、以下の点についてどのように工夫するのか記載してください。

・安心して相談できるような環境づくり

1 | オープンではない個別相談スペースの設置や相談日の設定

広場の奥へ個別相談スペースを設置。人目を気にせず、子どもと一緒に安心して自己開示をしてもらえるよう環境を作ります。

- ①相談者へ個人情報・相談内容についてスタッフの守秘義務の遵守を伝える。
- ②スタッフ間での情報共有の徹底
- ③相談記録用紙を作り随時記入
- ④スタッフ交代時に必ず確認する事で情報共有を徹底
- ⑤スタッフには守秘義務の遵守を徹底し個人情報の持ち出しや SNS での業務に関する書き込みのないように徹底。
- ⑥スタッフによるお子さんの見守り

2 | テーマのみを設定しプログラムを決めず、さまざまなおしゃべり交流会を実施

①個別相談までは必要ないが、話をしたい、聞いて欲しい方の入り口として、気軽に自由に相談できる場所の提供とスタッフの姿勢を心がけます。初めての方にも来てもらいやすくなり、本当に個別相談が必要な方を見逃さないようになります。

例) ウワサの komodo 会「県外出身ママの交流会」「助産師さんとの交流会」「育休ママの交流会」「パパ友をつくろう！」など

②継続的なフォローを実施するために、普段から利用者親子との会話を多く持つ。

・相談対応時の心構えや相談を受けるための姿勢

●当法人では「ピアカウンセリング(自立生活運動)」を取り入れ、お互い平等な立場で話を聞き合い、精神的サポート、情報提供サポートを行っています。

①「話しやすい雰囲気をつくる」

正面ではなく、少し斜めの位置に座る。頷きながら話を聞く。

②「必ず最後まで話を聞く」

スタッフは相談に対して「アドバイス」を先行しない。ありのままを受け止め、傾聴に努める。

③「気持ちにより添う」

スタッフは現在進行形の子育て中の母親、少し先輩の母親が中心なので、利用者さんと近い立場なので気持ちに寄り添いながら話を聞く事が出来る。

また、子育て経験者として、自身の経験をお話することが出来る。

④「継続的にフォローする」

守秘義務を徹底し、相談記録や情報の管理について定期的にチェック。

相談後来所されたときに、できる限り声かけをする。

・必要とされる援助等に円滑に結びつけるための体制整備

●その後の自立のための情報提供を実施

①適切な情報をお伝えできる様に専門機関の情報を事前に準備しておく。

専門機関のパンフレットを綴ったファイルを準備

②アドバイザーでは解決しづらい問題が発生した場合には関係各所への橋渡しをする。相談内容が具体的な制度をもって解決できる場合の支援先の把握。

③市役所等の子育てに関する問合せ先一覧を、市役所等と協働して作成。

(例)

「子どもの発達はどこに相談するの？」

「保育所に入れなかったけれど子どもを預けられる施設はあるの？」

「予防接種の申込みや相談は？」

「子ども落ち着きがなくて」…等

④保活支援に関する情報提供（育休中の利用者が増加しているため）

⑤ケース会議で情報共有とその後までを共有。

<これまでの支援の声>

・こんにちは赤ちゃん訪問員さんへの紹介されたのがきっかけで通うようになりました。自身もすごく人見知り激しい為、最初緊張していましたが、今ではスタッフさんや他のママさんにも自分から話せるようになり、こどもの成長も見れて本当に嬉しく思っています。

・他の広場さんにはない、子育てをされている同年代のママさんがスタッフさんであることも心強く、親身になっていただきました。また、しっかりとスタッフさん同士のコミュニケーションもとれていらっしゃるので、いついっても声をかけていただいて、一人ひとりに気づかっていたいただいたのも、本当にうれしいことでした。

【地域の子育て関連情報の収集・提供（通年）】について

保護者にとって有用な情報や保護者が求めている情報を、できる限り迅速かつスムーズに提供できるよう、以下の点についてどのように工夫するのか記載してください。

・保護者のニーズ把握も含めた情報収集方法

和歌山市内、近隣地区の子育て支援に関する情報を広く収集することは子育て中の保護者の支援活動への参加促進、子育て支援の人材発掘・育成など重要な役割を果たします。拠点利用者が自由に利用できる「情報交換ボード」の設置をはじめ、拠点にはスタッフが収集した様々な子育て支援に関する情報を整えます。また、地域の子育て情報だけに特化せず、情報を精査しながら収集提供していきます。

- ① スタッフ自身が Instagram や X、YouTube 等を利用し、今の子育て世代の流行りを常にリサーチする。
- ② SNS を活用し、和歌山のイベントや子育て情報の収集を行い、シェアする。
- ③ 子育てに関するニュースなどピックアップし、ミーティングなどで共有する。
- ④ 講座・イベント毎にアンケート調査を行う

参加されたイベントの満足度調査をすると共に、参加した講座以外にも現在興味をもっている講座内容等の情報を集めておき次回に還元する。



2024年度【komodo/ イベント参加者アンケート】

本日はご参加いただきありがとうございます！
少しだけアンケートにご協力ください。

Google にログインすると作業内容も保存できます。詳細

参加日時

YYYY MM DD

/ /

イベント名

※下記項目より選択・またはその他欄にイベント名をご記入ください。

ペーパーメッセージ

具体的なニーズの例:

- 子育てに関する悩みや不安の解消
- 最新の子育て情報や育児ノウハウの入手
- 地域の支援サービスやイベントの情報
- 他の保護者との交流の場
- 専門家への相談

他団体、企業からの子育てや地域イベントに関する情報を受入、ひろばには日々様々な情報やチラシ等が届きます。

- ・子育て広場、地域子育て支援拠点の活動予定情報、サークル活動チラシ
- ・ママ講師子育て関連イベントチラシ
- ・保育施設に関するもの
- ・小児科等の医療機関の情報
- ・地域マガジン（Lism、リビング新聞、まみたん、その他フリーペーパー）

その他、内容を丁寧にヒアリング精査し、利用者親子にとって有益であると判断したものは営利・非営利に関わらず情報を収集しています。（ただしネットワークビジネスや選挙活動、政治活動、宗教活動等に関するものは除く）

・保護者のニーズ・利便性に添った情報提供方法

1 | ひろばにて声かけ、チラシの掲示や配布など行う

地域の様々な情報を紙ベースでお渡しします

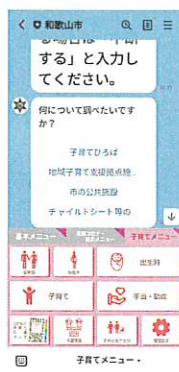
- ✓ 子育てイベントの情報
- ✓ 学びに関するセミナー等の情報
- ✓ ママたちの情報掲示版ボード
- ✓ 保活支援に関する情報ボード（保育園の空き状況や民間保育施設の情報等）

夫婦関係・産後鬱等、DV等チラシは人の目を気にせずに情報を入手しやすいような設置場所の確保、資料が持ち帰り易い様に玄関先等にチラシを設置する。



2 | SNSの活用

広場に来ることができない親子にむけても「和歌山市公式LINEアカウント（子育て）」への入力発信や、自社ホームページ（イベントページ、ブログページ）、各種SNSを活用し、幅広く情報を発信。ひろばのイベントのお知らせや警報時の臨時閉所もLINEで配信。国内主要SNS上位4種（LINE、X、Instagram、Facebook）すべて主要アカウント取得、情報を発信中です。



<和歌山市 LINE 公式アカウント >
施設開所・イベントの情報発信



<LINE 公式アカウント>
登録者数：約 1150 人
子育てイベント情報
保育施設の空き状況を配信



< Instagram >
フォロワー数：約 1460 人
随時、子育てイベント情報、開催報告、日常等を配信



<komodo 活動ブログ>
 随時、子育てイベント情報、
 開催報告、日常等を配信



<自社ホームページ>
 アクセス数：1日平均200件
 日々50～500件のアクセスがあります。

3 | 地域の回覧板への挟み込み

年2回 第1ブロック松江地区、木本地区、加太地区、西脇地区の支所4か所すべてと、栄谷地区（ふじと台）の回覧板にも挟み込み、約2000班への閲覧周知が可能となっています。

4 | ダイレクトメールの送付（郵送）

ひろばを利用中の保護者へ年2回程度のダイレクトメールを送付。定期的に送付することで、広場から足が遠のいていた利用者親子の再来のきっかけとなる。



《ダイレクトメール内容例》

- ・ひろば通信
- ・ひろばのイベントチラシ
- ・その他子育て支援に関する情報提供
- ・地域イベント、講座等の案内

情報提供のタイミング

イベントや相談会での情報提供：子育て支援イベントや相談会に合わせて、関連する情報を提供

個別相談時：保護者の相談内容に合わせて、必要な情報を提供

緊急時：災害時など、緊急の際に必要な情報を迅速に提供

双方向のコミュニケーションとしての情報提供

質問受付：保護者の質問に気軽に答えることができる窓口を設置

意見交換会：保護者同士や専門家と意見交換できる場を設置

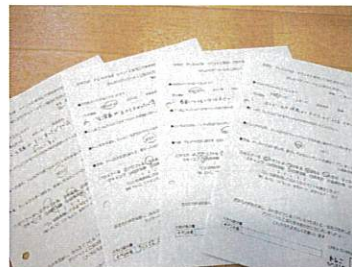
【子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（月1回以上）】について

未就園児を連れて参加する講座としてふさわしく、かつ子育てのヒントになるような講座が実施できるよう、以下の点についてどのように工夫するのか記載してください。

・参加のための工夫（内容、時間設定、参加方法等）

●内容

- ① ベビーマッサージのような講座や、子どもの発達や遊びに関する講座、グループワークなど、利用者のニーズや流行、課題等をすばやく感じとり講座開催へと運びます。
- ② 「komodoのあそびのじかん」「komodoふれあいじかん」「ウワサのkomodo会（座談会）」「komodo写真館～あかちゃんねぞうアート」等、参加しやすいタイトル表記とペルソナを設定し明確にしています。
- ③ 現役子育て中の「ママ講師®」「パパ講師」を起用し、旬な講座+その後の座談会で子育ての話も一緒に行います。同じ目線で話ができ、子育て中でも社会参画できるというモデルケースとの出会いにもなります。
- ③ 父親も気軽に参加できるようにするために、「パパと〇〇」というイベント名で父子での利用のハードルを下げ、開催日を土日に設定。
- ④ 講座・イベント毎にアンケート調査を行います。
参加されたイベントの満足度調査をすると共に、参加した講座以外にも現在興味をもっている講座内容等の情報を集めておき次回に還元します。



●時間設定・参加方法

- ① 講座の開催時間は基本的に午前を設定します。終了後みんなで昼食をとったりする中で新たなママ友と出会ったり、お昼寝の時間をとったりと午後からの時間を有意義に使ってもらえます。
- ② ひろばで開催する全ての講座を「子連れでも気がねなく参加できる講座」を大前提とし、スタッフと講師からも「講座中は子どもさんのペースに合わせての参加をして下さい」との声かけを徹底しています。
- ③ 講座型イベントの場合→設定時間は子ども達の集中力の持続可能時間(30分目安)とし、子連れでも手元の資料を見ながら参加してもらえるような形で行います。
- ④ 講座内容に応じて、定員を設定した事前予約制のものと、時間のみを設定し当日参加受付のものを使い分け、参加者に危険がないよう臨機応変に事前設定をします。
- ⑤ きょうだいで参加する親子への見守り配慮を行います。

- ・講座内容の設定に関する考え方

■地域子育て支援拠点における子育て及び子育て支援に関する講習等の実施の目的

予防型プログラムとして、グループワーク、講義形式等最適な方法で講座内容を設定します。グループワークでは参加者同士が子育ての関心や交流を通して共感することによって主体的に学ぶことができます。親自身が主体的に参加し、他の参加者との相互作用の中で、自分なりの子育てを見出し肯定的な養育イメージを学び獲得していくことを目指します。

■予防型プログラム実施のポイント

- ・安心して話せる場をつくる
- ・多様な親子をジャッジしない場をつくる
- ・子どもの育ちを分かち合える場をつくる
- ・スタッフがファシリテーターの役割を担う
- ・親自身が自分を大切にできる場をつくる
- ・「虐待」「体罰」等のネガティブな用語をプログラムにいれない
- ・早期発見ではなく、予防型プログラムとして実施、スタッフ間で確認する
- ・スタッフ間で、子どもへの体罰は法律で禁止されていることを確認し、「しつけ」と「体罰」の違いなどの共通理解をしておく

●目指すポイント

- ・主体性を尊重する
- ・知識ではなく経験を重視する
- ・情緒的なゆとりがもてる
- ・子どもの個性を大切にする
- ・自分らしさを活かした養育力を身につけられる
- ・配偶者と共に子育てをする意識がもてる
- ・親自身を取り巻く環境への意識がもてる
- ・将来展望がもてる
- ・他者に頼る力、お互い様の分かち合い意識がもてる

●プログラムテーマの展開例

利用者との普段の会話から講座内容のヒントを得ます

・子どもの食事、授乳、断乳やミルク	・帰省について
・人見知り、場所見知り	・パパの子育て
・泣き止まない、かんしゃく	・ふたご、みつご育児
・イヤイヤ期の乗り越え方	・子育てと家事
・職場復帰	・ストレス発散

●グループワークを通して参加者が得られる効果

- ・私だけじゃなくて安心した
- ・固定観念にしばられていたかも
- ・そんな考え方もできるのか

⇒多様な見方、意見を需要でき、入手してきた知識や情報を体験的に理解することができる

《これまでの開催例》

①親子で楽しく参加できるもの

夫婦で参加しやすく、子どもの成長を共に分かち合える内容を重視し実施



ふれあい時間



赤ちゃんハイハイレース



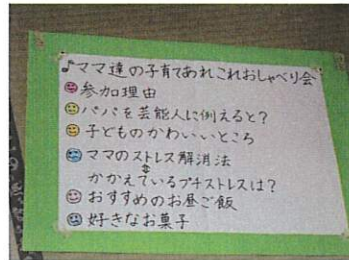
絵本読み聞かせ

ひろば初来所のきっかけとなる様な「〇〇交流会」

年齢別開放日やはじめてさん集まれ！ではアウェイ育児の方をサポートできるよう
保健センターと協働で実施



年齢別開放日



おしゃべり交流会



はじめてさん集まれ

テーマを決めたお楽しみ会



お誕生日会



ボールプールで遊ぼう



からだを動かして遊ぼう

② 子育てについての学びに関するもの

専門家による講座や座談会 等



助産師さんとお話会



マネー講座



歯のお話会

③ 季節行事に沿ったもの



(10月) 保活両立講座



(2月) 節分



(2月) 雛祭り

④ 孤食を防ぐ あかちゃん食堂ランチ交流会



《講座・イベントチラシ》

和歌山県地域子育て支援拠点 **komodo** 2024年8月のイベント

8/11 (日) komodoのあそびのじかん ~夏まつりびっこ~

8/14 (水) ワウザのkomodo会 ~七夕の会賞品抽選交流会~

8/21 (水) 年齢別開放日 ~0歳児さんまつれ~

8/22 (火) 子育てプランナーさんのお話会 ~夏まつりについて~

8/30 (金) komodoのあそびの日会 ~7・8・9月生まれさん~

8/29 (木) あしはり広域ネット@北口コミュニティセンター

2024年8月行事予定表

和歌山県地域子育て支援拠点 **komodo** 2024年7月のイベント

7/13(土)・14(日)・15(月祝) komodoのあそびのじかん ~ボールプールで遊ぼう~

7/21 (日) komodo DE あかちゃんハイハイレース

7/26 (金) 年齢別開放日 ~1歳児さんまつれ~

7/27 (土) ワウザのkomodo会 ~ママ友を作ろう! プレママ交流会~

7/30 (火) komodoおれ合い時間 ~ベビーマッサージ~

7/4 (木) あしはり広域ネット@北口コミュニティセンター

2024年7月行事予定表

【その他の子育て支援活動の実施】について

地域の実情、利用者のニーズ等に応じて、河西ほほえみセンター内に設置されていることを生かした活動、拠点施設内にとどまらない近隣エリアにおける子育て支援活動等、どのような取組を行うのか記載してください。

・取組内容について

(例：●河西ほほえみセンター内に設置されていることを生かした活動、●公民館、公園等に出向いた親子交流、●子育てサークルとの協働や連携、●高齢者、学生、地域団体との連携等)

●河西ほほえみセンター内に設置されていることを生かした活動

和歌山市西保健センター、子育て世代包括支援センター、和歌山市民図書館西分館と協働し、子育て支援に関する講座や交流会等の実施や独自講座への挨拶や相互の周知活動を行っています。

・マタニティ教室での保育士派遣

・4か月健診、10か月健診、1歳半健診時、待ち時間の広場利用の声掛けと全10拠点の広場の周知を実施

・図書館⇄ひろばでの絵本読み聞かせの実施や講座の周知

河西ほほえみセンターに併設されている状況の下で「地域子育て支援拠点」を運営することは様々な課題を抱えた未就園児とその保護者が一緒に遊び、交流し情報交換できる場になり、ハブとして重要な位置づけになると考えます。子育て広場を卒業後の子どもの教育面でも子どもが図書館に足を運ぶ道筋をつけることができます。

図書館のスタッフによる絵本よみきかせも実施しており、それぞれが単独施設ではなく連携して地域の居場所としての運営が実現されています。

●地域に出向いた親子交流

・企業と連携し体操教室や遊びを定期的実施

企業と連携し、ひろばではもう大きな動きの遊びができなくなってきた2歳、3歳の未就園児の子どもや、ハイハイ期の乳児を対象とした遊びを企画。

紀の川をはさみ、主に南部で子育てをしている子育て世帯と、北部で子育てをしている子育て世帯の交流ができるように、ドレミひろばと協働し、子育て広場を開催



体操教室



ハイハイレース



合同子育てひろば

●公民館、公園等に出向いた親子交流

第1ブロック（松江、木本、西脇、加太）に所在を置く和歌山市地域子育て支援拠点は松江地区と木本地区の境目、ブロックの東側に所在します。
広域となるため、車でも来やすいよう駐車スペースが十分にある場所を選定し、親子交流の場を設定しています。



①戸外での青空広場にて一緒に体を動かすような遊びや季節体験遊びの場の実施

②コミュニティセンターや自治会館等での子育て広場の実施

通常の広場では異年齢になることで広場へ足を運ぶことをためらう親子のために、畳の部屋等をレンタルしての赤ちゃん広場の実施や、拠点、自宅ではめいっぱい体を動かさないような「体操」や「リトミック」などの遊びの実施を地域に出て行っています。

《これまでの開催例》



土入公園にて



河西コミュニティセンターにて

●高齢者・地域団体との連携

地域の民生委員、婦人会に協力を得て子育て広場を運営。拠点内外、ひろば活動でのボランティアで参加いただいております。

多世代交流を通して、今の子育てをみてもらい、二人目の子どものケアやサポートを通して、共に親育てを支援します。

協力) 和歌山市民生委員・児童委員、和歌山市婦人団体連絡協議会



●地域の学生とのふれあい

地域の学生との子育て広場等の開催

親子・・・普段とは違った遊びを体感できる

学生・・・子育てのロールモデルに出会うことにより職業イメージと将来が想像できるようになる

写真) 和歌山信愛女子短期大学保育科学生、和歌山県立医科大学看護学部学生



ひろばでのボランティアを経験し、数年後母となり、親子でひろばに遊びに来てくれる方もいます。子育て支援に興味をもち、再就職先として当団体で働く母親もいます。

・取組を実施することによる効果等について

《子どもの成長と親育ちの視点で》

拠点施設内にとどまらない戸外での活動を通し、子どもを外遊びするには困難な家庭でも集団で活動することで、家ではできない運動遊びができ子どもも保護者も楽しめます。親子で一緒に自然に触れ、共感し合うことを通して親子の心が安らぎ豊かな感情や好奇心が培われ関わろうとする意欲や探求心が養われます。季節それぞれでうちではできない「体験」を親子で過ごすことにより他の親子とふれあう中での楽しさを経験できます。外気に触れることにより、視覚、聴覚、触覚、嗅覚などの五感を通して様々な感覚や知覚を得ることを狙いとします。室内遊びでは限られている親子での遊びも戸外での活動によって室内では気づけなかった自分の子どもの成長や、発見があったり感動したり母親の自己肯定感の向上にもつながります。

《地域の全体で子育てをするという視点で》

核家族化の進展等による家庭の養育力の低下や地域における相互助け合いの低下があり、かつては家族や近隣から得られていた知恵や支援が得られにくいという育児の孤立、といった問題点が指摘されています。高齢者・障害者・学生・子どもなど多様な人々がふれあい、お互いを支え合い、共に暮らしていくコミュニティは地域共生社会においても、子どもたちの育ちにおいても非常に重要です。

子育て支援の活動をする中で、取り組みを縦割りで考えるのではなく、多世代交流をすることが子どもの育ちにより影響を与えること、地域共生社会において必要不可欠であると考えます。子育て家庭のことを地域に知ってもらうこと、そして自分たちが暮らす地域にはどんな大人がいるのか、どのような暮らしをしているのか、どのような歴史がありどのような仕事をしているのか等、多様な人と関わることが子どもたちの地域愛形成や職業観の形成につながっていくものと考えます。地域の中に子どもがいて、そんな地域は子育てがしやすいまちになると考えます。

年間スケジュール（予定）

	子育て等に関する相談 援助の実施	子育て支援に関する講習 等の実施	その他の子育て支援活動 の実施
4月	助産師相談	ベビーマッサージ 歯のお話会 パパ講座 グループワーク	青空広場
5月	専門家による 発達相談	えいごであそび 県外出身ママの グループワーク 夏の工作	赤ちゃん広場
6月	保健師発育相談	ベビーマッサージ お誕生日会 親子ふれあい遊び 絵本の読み聞かせ	学生ボランティアの受入
7月	保活相談	えいごであそぼ！ 防災講座 絵本の読み聞かせ グループワーク	赤ちゃん広場
8月	専門家による 発達相談	ベビーマッサージ ハロウィンクラフト 親子ふれあい遊び 絵本の読み聞かせ	図書館での絵本読み聞かせ
9月	保活相談	えいごであそぼ！ お誕生日会 グループワーク	赤ちゃん広場
10月	専門家による 発達相談	ベビーマッサージ Xmas コンサート	クリスマス会
11月	助産師相談	えいごであそぼ！ 親子ふれあい遊び 絵本の読み聞かせ お誕生日会	親子ヨガ教室
12月	専門家による 復職相談	ベビーマッサージ バレンタインクラフト	体操教室
1月	専門家による 復職相談	えいごであそぼ！ 親子ふれあい遊び 新生活おしゃべり交流会	青空ひろば
2月		ベビーマッサージ グループワーク 絵本の読み聞かせ 春の工作	赤ちゃん広場
3月	保活相談	えいごあそび はじめてさん交流会 お誕生日会	青空ひろば